



平成30年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年8月10日
上場取引所 東

上場会社名 佐渡汽船株式会社
 コード番号 9176 URL <http://www.sadokisen.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 健
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 土屋 亨 TEL 025-245-2311
 四半期報告書提出予定日 平成30年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年12月期第2四半期の連結業績（平成30年1月1日～平成30年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第2四半期	5,013	5.5	△640	—	△701	—	△718	—
29年12月期第2四半期	4,751	0.0	△855	—	△912	—	△901	—

(注) 包括利益 30年12月期第2四半期 △725百万円 (—%) 29年12月期第2四半期 △907百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第2四半期	△50.60	—
29年12月期第2四半期	△63.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年12月期第2四半期	15,638	1,625	7.7
29年12月期	15,584	2,353	12.3

(参考) 自己資本 30年12月期第2四半期 1,210百万円 29年12月期 1,923百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期	—	—	—	0.00	0.00
30年12月期	—	—	—	—	—
30年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

(注) 平成30年12月期の配当につきましては、現段階では未定とさせていただきます。

3. 平成30年12月期の連結業績予想（平成30年1月1日～平成30年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,848	4.0	306	253.7	179	—	103	—	7.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年12月期2Q	14,275,450株	29年12月期	14,275,450株
② 期末自己株式数	30年12月期2Q	48,149株	29年12月期	87,149株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年12月期2Q	14,199,444株	29年12月期2Q	14,170,310株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
(第2四半期連結累計期間)	6
四半期連結包括利益計算書	
(第2四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用・所得環境の改善が進む中、緩やかな回復基調が続きましたが、原油価格の高騰や米政権の通商政策問題、中東・北朝鮮の地政学的リスク等、世界経済の不確実性により先行きは不透明な状況で推移しました。

こうした状況の中、当社では安全運航の徹底とともに、営業施策としてSNSを活用した佐渡の魅力発信やインバウンド誘致、週末やシニア層等に限定した航送料金の割引拡大など積極的な営業展開を図りました。その結果、観光シーズンである4月以降の輸送実績は、旅客、航送、貨物の主要3部門とも前年同期を上回りました。

売上高は、輸送実績が堅調に推移していること、平成29年4月1日より「有人国境離島地域の保全及び特定国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法」に基づき、国及び地元自治体の補助を受けて佐渡市民旅客運賃(佐渡市民割引)を実施していることによりジェットフォイル利用の傾向が続いていることから、前年同期を上回りました。一方、費用面においては、原油価格の高騰により燃料費が前年同期を上回りました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は5,013,891千円(前年同期比5.5%増)、営業損失は640,671千円(前年同期は855,943千円の営業損失)、経常損失は701,783千円(前年同期は912,782千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は718,499千円(前年同期は901,125千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。なお、当社グループの売上高は事業の性質上、第3四半期に著しく増加する傾向にあり季節的変動が顕著であります。

①海運

当第2四半期連結累計期間の旅客輸送人員は621,206人(前年同期比0.2%減)、自動車航送台数は乗用車換算で95,704台(前年同期比8.2%増)、貨物輸送トン数は76,077トン(前年同期比1.0%増)となりました。

以上の結果、売上高は3,415,010千円(前年同期比7.1%増)、セグメント損失(営業損失)は619,575千円(前年同期は791,309千円のセグメント損失(営業損失))となりました。

②一般貨物自動車運送

当第2四半期連結累計期間の売上高は766,372千円(前年同期比1.8%増)、セグメント損失(営業損失)は612千円(前年同期は6,104千円のセグメント損失(営業損失))となりました。

③売店・飲食

当第2四半期連結累計期間の売上高は444,532千円(前年同期比5.4%増)、セグメント損失(営業損失)は25,252千円(前年同期は32,240千円のセグメント損失(営業損失))となりました。

④観光

当第2四半期連結累計期間の売上高は271,845千円(前年同期比3.5%減)、セグメント損失(営業損失)は27,107千円(前年同期は49,019千円のセグメント損失(営業損失))となりました。

⑤その他

当第2四半期連結累計期間の売上高は116,132千円(前年同期比9.4%増)、セグメント利益(営業利益)は15,843千円(前年同期比127.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ53,373千円増加し15,638,283千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ27,288千円増加し3,916,737千円となりました。これは、受取手形及び売掛金が79,590千円、その他が36,921千円それぞれ減少したものの、現金及び預金が157,823千円増加したことが主な要因であります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ31,366千円増加し11,689,801千円となりました。これは、償却の進行による減少があったものの、建設仮勘定が170,279千円増加したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ781,702千円増加し14,013,251千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ687,836千円増加し4,415,568千円となりました。これは、短期借入金が85,000千円、1年内返済予定の長期借入金が87,132千円、その他が516,040千円それぞれ増加したことが主な要因であります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ93,866千円増加し9,597,683千円となりました。これは、社債が210,020千円減少したものの、長期借入金が270,764千円、特別修繕引当金が38,131千円それぞれ増加したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ728,329千円減少し1,625,032千円となりました。これは、新株予約権が9,871千円減少したこと、718,499千円の親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年12月期の業績予想につきましては、平成30年2月16日公表の数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,848,577	2,006,400
受取手形及び売掛金	1,000,951	921,361
たな卸資産	827,089	815,747
その他	218,454	181,533
貸倒引当金	△5,622	△8,304
流動資産合計	3,889,449	3,916,737
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	5,484,706	5,402,020
建物(純額)	2,729,167	2,696,618
土地	1,738,812	1,738,812
建設仮勘定	113,380	283,659
その他(純額)	819,196	788,110
有形固定資産合計	10,885,261	10,909,219
無形固定資産		
その他	192,262	204,686
無形固定資産合計	192,262	204,686
投資その他の資産		
投資有価証券	182,518	176,639
長期前払費用	299,234	302,410
その他	99,212	96,899
貸倒引当金	△52	△52
投資その他の資産合計	580,912	575,896
固定資産合計	11,658,435	11,689,801
繰延資産		
社債発行費	37,026	31,745
繰延資産合計	37,026	31,745
資産合計	15,584,910	15,638,283

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	527,497	525,172
短期借入金	314,000	399,000
1年内償還予定の社債	420,040	420,040
1年内返済予定の長期借入金	1,791,570	1,878,702
未払法人税等	35,401	37,305
賞与引当金	48,848	48,933
その他	590,376	1,106,416
流動負債合計	3,727,732	4,415,568
固定負債		
社債	1,399,100	1,189,080
長期借入金	6,914,281	7,185,045
役員退職慰労引当金	62,722	60,373
退職給付に係る負債	832,288	839,945
特別修繕引当金	115,944	154,075
資産除去債務	27,627	27,122
その他	151,855	142,043
固定負債合計	9,503,817	9,597,683
負債合計	13,231,549	14,013,251
純資産の部		
株主資本		
資本金	843,135	843,135
資本剰余金	651,915	652,192
利益剰余金	442,291	△276,208
自己株式	△40,210	△30,577
株主資本合計	1,897,131	1,188,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,133	22,143
その他の包括利益累計額合計	26,133	22,143
新株予約権	35,281	25,410
非支配株主持分	394,816	388,937
純資産合計	2,353,361	1,625,032
負債純資産合計	15,584,910	15,638,283

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
売上高	4,751,719	5,013,891
売上原価	5,135,757	5,181,486
売上総損失(△)	△384,038	△167,595
販売費及び一般管理費	471,905	473,076
営業損失(△)	△855,943	△640,671
営業外収益		
固定資産賃貸料	38,720	37,609
受取利息	113	83
受取配当金	4,201	3,881
その他	24,578	21,889
営業外収益合計	67,612	63,462
営業外費用		
支払利息	87,458	87,671
固定資産賃貸費用	21,518	20,663
その他	15,475	16,240
営業外費用合計	124,451	124,574
経常損失(△)	△912,782	△701,783
特別利益		
固定資産売却益	7,365	3,940
新株予約権戻入益	24,984	—
その他	—	89
特別利益合計	32,349	4,029
特別損失		
固定資産売却損	741	47
固定資産除却損	3,679	191
特別損失合計	4,420	238
税金等調整前四半期純損失(△)	△884,853	△697,991
法人税、住民税及び事業税	31,125	34,295
法人税等調整額	△7,932	△10,306
法人税等合計	23,193	23,989
四半期純損失(△)	△908,046	△721,980
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,921	△3,481
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△901,125	△718,499

四半期連結包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年6月30日)
四半期純損失(△)	△908,046	△721,980
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	341	△4,019
その他の包括利益合計	341	△4,019
四半期包括利益	△907,705	△725,999
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△900,804	△722,489
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,901	△3,510

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,189,681	752,564	421,762	281,573	4,645,580	106,139	4,751,719
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,664	164,431	17,953	196,607	380,655	93,157	473,812
計	3,191,345	916,995	439,715	478,180	5,026,235	199,296	5,225,531
セグメント利益又は損失(△)	△791,309	△6,104	△32,240	△49,019	△878,672	6,956	△871,716

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△878,672
「その他」の区分の利益	6,956
セグメント間取引消去	15,773
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△855,943

II 当第2四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,415,010	766,372	444,532	271,845	4,897,759	116,132	5,013,891
セグメント間の内部売上高 又は振替高	854	177,302	19,114	202,842	400,112	97,991	498,103
計	3,415,864	943,674	463,646	474,687	5,297,871	214,123	5,511,994
セグメント利益又は損失(△)	△619,575	△612	△25,252	△27,107	△672,546	15,843	△656,703

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△672,546
「その他」の区分の利益	15,843
セグメント間取引消去	16,032
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△640,671